

アルレッティ

Arletty

生年月日 1898/05/15

出身地 フランス／パリ郊外

没年 1992/07/24

【バイオグラフィ】

■本名はLeonie Bathiat。軍需工場の女工員から秘書、モデルを経て舞台に立つようになり、20年代はオペラや芝居に出演。32歳になった30年によく映画デビューを飾る。その後も舞台との両立を続け、「ミモザ館」、「北ホテル」に出演。42年の「悪魔が夜来る」あたりから本格的に映画に進出。45年の「天井桟敷の人々」は作品の評価もさる事ながら、その妖艶さと名演は21世紀になった今でも語り継がれ、彼女の代表作となった。戦後は「われら巴里っ子」、そして唯一のアメリカ映画「史上最大の作戦」に出演。しかし64年頃から視力を失い始め、66年には失明という不運に会うが映画や、ラジオのナレーターを務めて素敵な声を披露し続けた。82年、セザールの特別賞を受賞。その後彼女を追ったドキュメンタリーが2本製作されたり、功績を称えて“アルレッティ賞”も創設された。

【フィルモグラフィ】

史上最大の作戦 (1962)	出演 :バロー夫人
ヒッチ・ガール (1961)	出演
われら巴里っ子 (1954)	出演
外人部隊 (1953)	出演
死の肖像 (1949)	出演
天井桟敷の人々 (1945)	出演
悪魔が夜来る (1942)	出演 :ドミニク
あらし (1940)	出演
陽は昇る (1939)	出演
北ホテル (1938)	出演
ミモザ館 (1934)	出演